

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：R2年 10月 30日

15名中12名の方がご回答いただきました。ありがとうございます。

事業所名： てくてく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	部屋が一つしかなく、広さも十分ではありませんが、利用者様の成長が見られ、大きな段ボールでパーテーションで区切る必要は無くなりました。グループでの自由遊びは、こちらでブロック、カード遊び等、指定の場所を指示しています。クールダウンの空間や絵本を読む部屋等は必要だと思います。尚、本年初頭からの新型コロナウイルス感染予防の為、作業時やおやつ時等、2つの部屋に分かれ、職員や利用者様の距離間や不要の接触、手洗いやうがい、当事業所内の消毒等を徹底しています。	はい・・・7名、どちらともいえない・・・3名、いいえ・・・1名、分からない・・・1名（ご意見・・・利用人数も限られ年齢も様々、年により変化するうえで活動スペースが充分あるとは言えないのでは。できれば、もう少し広い方が良いと思います。）	クールダウンの部屋と、静かな空間だけは何とか確保できるようにしたいと思います。今後、リフォームを予定しています。
	2	職員の適切な配置	30年報酬改定により、人件費を考えると手厚く支援しながらの運営は、ぎりぎりの状態です。活動内容の見直し等により、机を出す回数を減らす等、安全面等を工夫しています。尚、食事・排泄介助等を踏まえ、利用者様の個々の特性を考慮し、週2日は指導員5人体制で対応させていただいております。又利用者様のテンションや体調等によりスタッフ間の話し合いで人員を増やすこともあります。	はい・・・8名、どちらともいえない・・・4名、(ご意見・・・年齢や個性に合わせたサービスの向上にはより専門性人員の増員は不可欠。上限はないのでは。)	少ない人数の中で、手厚い支援ができるように、外部の研修に参加し、児発管が内部研修を行い指導員の専門性を高めています。ご意見でもありますように、より良い支援のためにも、報酬改善を望んでいます。コロナ対策の為、外部研修は控えていますが、内部研修は継続し、スキルアップにも努めたいと思います。又利用者様の体調等に係る、情報収集や勉強会も行っています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	古い民家を使っているため、バリアフリーになっていないところもあります。工夫としては、玄関の踏み台を増やし靴を履く際の混雑を減らす。椅子の大小、背もたれのあるなしを使い分ける。勢いよくドアを閉める利用者様対応としてドアストッパーを設置等。しかし水回りの動線、トイレも一箇所に無いことから、使いにくさを感じる。又コロナ感染予防の手洗いにも、時間をしっかりかけて洗うので、洗面所の蛇口が一つしかないのは、不便です。	はい・・・10名、分からないが2名	お子さま達が来所して準備がしやすい様、視覚や動線を工夫しておりますが、建物の作りが古い為、工夫しても追いついていないのが現状です。利用者さんが土壁を触ることがあり、クロスだけ貼り替えました。今後リフォームを予定しています。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	排泄後、使用した後、汚れていないかを確認しています。当事業所内の消毒は勿論のこと、コロナ対策の為、マスク着用可能な利用者様には、常時マスク着用をお願いし、職員や利用者様の距離間、換気を徹底しています。又遊びの時間に集中することに重点を置いていない時間帯には、カーテンを開け、外の自然を感じられるように配慮しています。	はい・・・9名、どちらともいえない・・・1名、分からない・・・2名	建物自体が古く、二つの事業所で共有で使用されるスペースもあることから、利用者さんにはご不便をおかけしています。感染症の点から消毒、換気は徹底して行っています。又送迎時の際には車の換気、手指の消毒も行っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日のミーティングで業務改善、ここが衛生的に気になる、利用者様が使いにくい等、意見を出し合っています。又個人の意見やマニュアルの見直しも全職員で話し合っています。		職員から利用者様が使いにくい点をあげてくれています。ミーティングで話し合い、見直し改善に努めます。又送迎に行った職員と家族の話など情報を共有しています。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	利用時の流れ、計画、実行、モニタリング等の一連、誰が担当等の開示を玄関に貼る等の改善をしました。		第三者機関に教えて頂いた内容を基に、支援の改善に努めています。マニュアル等の見直し、改善等、今後も努力していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎年、年1回、全職員参加のスキルアップ研修があります。その他にも、外部の研修案内を掲示板に貼り、個々で参加し、情報を共有しています。本年はコロナウイルス感染防止の為、外部研修は中断していますが、法人内研修は市内の衛生面も安全な施設をお借りして行いました。研修後、卒業後に就労や生活する施設見学をしました。		コロナ対策の為、外部研修は控えていますが、内部研修は今後も、継続してまいります。又利用者様の先を見越して支援計画に活かすように話し合いを行っていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントは6ヶ月毎に行っています。保護者様のニーズ、本児の強みや興味、特性を考えて計画させていただいています。計画書の説明をして保護者様同意の基、課題を上げています。支援会議で情報を共有しています。	はい・・・12名、	今後も、アセスメントだけではなく、送迎時、連絡帳での情報交換を含め、課題に取り組んでいきます。又学校、他事業所とも情報を共有していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団活動と作業活動、少人数の活動を、個別課題を常に念頭に置き取り組んでいます。内容や児童の状況を踏まえ、どの活動なら、本児が興味を持って楽しめるか、又利用者様の声を活かして活動を職員全員で考えています。		引き続き利用者様の状況に合わせて、集団、個別を組み合わせ、お子さま方がスモールステップで課題に取り組んでいけるよう、より良い計画の作成に努めます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画に、具体的な方法、声掛けを細かく書いています。2019年度からの厚労省からの例もあり、利用者様が達成可能なこと、更に達成することにより、達成感を味わえるような内容を意識しています。又途中で課題が増えた場合は、保護者と相談して足すこともあります。	はい・・・12名、	個別支援計画は、研修の機会もあるので、指導員も保護者も分かり易いように細かく記載しています。細かく記載することにより、全指導員が同じ関わりが出来るよう、努めています。又支援計画以外にも気になったことを記入して次回に活かしていきます。
4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	スケジュールを決める際に個別課題に上がっている内容を念頭に入れ、活動を立案しています。毎日のミーティングで活動の目的や、利用者様の課題を考えて実施しています。担当職員からも課題に揚がっている内容を入れて下さいの意見が出て、職員間で意識付けをしています。	はい・・・11名、わからない・・・1名	活動の結果、個別支援計画の課題に対して、どうだったかを翌日のミーティングで話し合っています。利用者様の取り組みが難しい場合は、担当者だけではなく職員全員で考え、より良い方法を検討していきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	5	チーム全体での活動プログラムの立案	スケジュールを決める際に意見交換をしています。その日の担当もその時に決めています。新しい試みは児発管が確認しています。毎日のミーティングで活動の目的や、利用者様の課題を考えて実施しています。活動の前には、個々の利用者様が分かり易い、座席の配置等も考えています。集団活動の内容に、不安のある利用者様には練習の機会を設ける様にしています。	活動プログラムの固定化しないように工夫されているかについては、はい…11名、どちらともいえない…1名	どの内容にしても、利用者様が楽しんでいるかを考えています。終わった後に達成感も感じてもらえるように、最後は成功体験で終わるようにしています。今後も利用者様が楽しみながら、色々な体験が出来るように、工夫していきます。本年はコロナ感染の為、年2回のオープンてくてくを開催できず、日頃の様子を見ていただける機会がありませんでしたが、保護者様には日々の活動の様子をより理解していただけるよう、帰りの送迎時に報告させていただいております。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	開所時間から細かく、プログラムを組んでいます。通常は学校からの来所時間に差があるので、長期休暇にしか出来ないことを、楽しんでしています。安全、感染症、健康面を考慮し、利用者様が楽しめる様に工夫しています。又コロナ感染防止の為、距離間、不要の接触は勿論のこと、園内での音楽活動では極力歌うことを控え、園外学習も控えております。今回はコロナ感染のこともあり、緊急事態宣言で学校の休みが長期だったため、机に向かう姿勢で作業を増やしました。学校が始まった時、スムーズに対応出来る様に。(学校の先生にもお伝えしました)又水風船や水鉄砲を準備しストレス発散に思いっきり楽しんでもらいました。		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	楽しみながら身に付けていただきたい為、利用者様が興味を持ちそうな内容、工夫をスケジュールを立てる際に意見交換をしています。指導員が活動で使用出来る手作りの道具を作っています。おとなりへ、いかだでゴー、てくてくランドでは内容を替え、あきることなくスモールステップで取り組める様に配慮しています。道具、個数等本児に選択決定していただいております。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	ミーティングを開き、その日の活動内容を担当者が考え、毎日メイン活動が異なる為、シュミレーションを行い職員間で共有しています。その中で内容のアドバイスおやつ、活動の座席配置も皆で考え、この時に、その活動の目的も伝えていきます。内容が個別課題に添っているか、達成感が得られるレベルかも意見交換しています。それに伴い変更も行っています。		毎日ミーティングを開き、その日の活動内容を担当がシュミレーションし、今日の活動の目的も再度確認しています。利用者様の担当もこの時に伝えます。児発管だけではなく、職員同士でも意見を出し合って、よりよい活動に努めています。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	翌日の会議で、利用者様の様子や活動内容が適切であったか、(理解度、手足の使い方等)を話し合っています。送りの際に保護者から聞いたことも、この時に共有しミーティング用紙に記入しています。		利用者様の変化から個々の課題の目的を、出来ていたか、否かを皆で話し合います。又次回に活かせる様にどのようなアレンジを加えれば良いかも検討しています。保護者様からお聞きした内容等も、職員間で情報を共有しています。参加出来ない職員はミーティング用紙でチェックし、情報の共有を図っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	ケースに記入、当日担当は決まっているものの、担当以外でも他の職員が気になる事も記入しています。ケースの記入漏れがないかもチェック表を用い確認しています。児発管、管理者が記入後チェックしています。		ケースの記入方法も児発管が研修を行っています。ケース記入後、児発管が点検し、気になる内容は指導員から聞き取りをし、支援の改善に努めます。
	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	基本6ヶ月毎のモニタリング、計画の見直し、毎日のミーティング、支援会議で出てきた内容を分析して、個別支援計画の見直し、追加が必要な場合は保護者に同意していただき途中でも作成することもあります。		支援会議で、職員全員でモニタリングを行い、課題の結果を意見交換し、見直し、継続、終了かを話し合い、保護者様にお伝えしています。今後も職員全員で、情報交換をし、多くの視点から支援していきます。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	常勤の指導員が全体を見ているので、参加することも多くありますが、内容により個別支援の担当者が一緒に参加しています。		利用者様の状況を1番良く理解する職員と児発管が、更に連携に努めます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	なし		なし
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	なし		なし
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者様からの要望が有れば連携を取らせていただいています。その場合、個別支援計画に連携機関を記載しています。排泄、給食時の様子や作業内容等もお聞きし、こちらでも参考にさせていただいています。		アセスメントでお聞きした連携先を、個別支援計画に、明記して保護者様の同意のもと、連携を更に図ります。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	サービス担当者会議に出席し、情報交換させて頂いています。支援が難しい利用者様には、当事業所でしていた本人が好む作業活動で使用していた手作りの物を、次の施設にもつないでいます。		今後も、アセスメントだけではなく、送迎時、連絡帳での情報交換を含め、課題に取り組んでいきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達支援センターと連携を取らせて頂いています。研修の機会があれば、参加しています。本年度はコロナ感染防止の為、研修は控えている状況ですが今後とも連携を強化していきたいと思っております。		利用者様が通う児童発達支援センターと連携し、こちらでも出来ることは、支援計画書に掲げて取り組みを進めます。近隣の専門機関の他職種の方との勉強会に児発管が参加し、職員に伝えていきます。コロナ対策の為、他業種の方々との連携は控えてますが、情報共有は今後とも継続してまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	していません。	はい・・・1名、どちらともいえない・・・2名、いいえ・・・4名、分からない・・・5名、(ご意見・・・難しい。時間もさることながら活動までには支援サービス側と相手側との打ち合わせも必要。それ以上に参加する子どもや保護者にも安心した場である必要があるため国や県、市の積極的な支援が重要だと思う。・現在コロナで状況が分かりません。以前は色々と考えていただいていたと思います。)	保護者様の意見にもありますように、自分の子の事をどこまで理解してくれるかは正直不安もあり、他の施設のお子さま方と交流を持った時に事故があった場合の事を考慮しますと、当事業所としては交流の場は難しいと思います。
	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	自治会との年2回の交流会や、非難訓練、地域の方との庭での菜園等をさせていただいていますが、コロナ感染予防の為、本年度は集いの場は控えている状況です。自治会の方のご厚意より例年通り、七夕の笹の葉は持って来て下さりました。いつもと変わらない七夕飾りに利用者様と喜びました。又向日葵を植えて下さり利用者様と目の保養をさせていただきました。今後も地域交流を継続していきたいと思っております。		今後も自治会の方々との交流をさせていただき、お子さま方との触れ合う機会を作っていけるように努力していきます。
保護者への説明責・連携	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時にサービス利用契約をもとに、説明させていただいています。個別で作る作品には保護者に説明した後に、請求しています。	はい・・・12名	引き続き、保護者様に、説明、文章により明確に分かるように、努めていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画を作成した時に、読み上げ、説明し確認の上、同意していただいています。又課題に揚げた実物等を見て頂き、保護者に説明させていただくこともあります。	はい・・・12名	今後も個別支援計画の支援内容を分かり易く、丁寧に記入し、分かり易い言葉で説明いたします。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	今回はコロナ対策の為、勉強会ははしませんでした。保護者から、電話、送り時、連絡帳にて相談をお聞きした時は、声掛け等の助言をさせていただいています。	はい・・・7名、どちらともいえない・・・2名、いいえ・・・1名、わからない・・・2名	今年度はコロナ対策のため、学習会ははしませんでした。保護者様からの相談には、一緒に考えさせていただきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や帰りの送迎時に、日々の様子を情報交換させていただいています。児発管が出向き、相談のお答えや内容によっては当日の様子をお伝えすることもあります。	はい・・・11名、どちらともいえない・・・1名	引き続き、保護者様と情報交換させていただき、帰りの送迎時には、その日の様子を丁寧に伝え、情報共有に努めます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	電話、送り時、連絡帳でお聞きし、連絡が必要な場合は児発管が出向いたり、当事業所に来ていただき、お話しさせていただいています。	はい・・・11名、分からない・・・1名	育成会が立ち上げた法人なので尚のこと、保護者様、本人様に寄り添い、悩みや成長の喜びを共に感じられるよう、又保護者様がこちらに、お話ししやすい環境作りを目指し努力していきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会はあるもののコロナ感染予防の為、今回は年2回の親睦会等もありませんでした。そのため会費で、キーボードを寄贈していただきました。	はい・・・7名、どちらともいえない・・・2名、いいえ・・・1名、分からない・・・2名(ご意見・・・保護者会の開催はあるが限られた方の参加となりがち。集まり易い環境に苦慮。)	コロナ感染が収まりましたら、保護者会に少しでも多くの保護者様が参加していただけるよう、内容等の提案をさせていただき、皆さまが連携出来る様に、努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
支援	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に、苦情担当窓口等の説明はさせていただいています。投書箱を設置しています。又連絡帳にて指摘いただいた際は、児発管が電話を入れさせていただき、内容をお聞きし、後日改善点を書面にて見て頂いたりしています。	はい・・・9名、いいえ・・・1名、分からない・・・2名	契約時に書面にて説明させていただきますが、実際には分かりにくいかと思われます。苦情があった場合の、対応の方法を、保護者様との面談時に説明し、ご理解いただけるよう、努めます。サービス向上委員会が出た、苦情等も個人情報に留意し掲示出来ればと考えています。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	ティーチ、文字盤、マカトン、タイムタイマーでそれぞれに合う、個々の対応をさせていただいています。又実物、カードを使い手で選択していただきました。こちらで視覚的に作成したイラストを、保護者様から家でも使いたいのでコピーをいただきたいと言って下さり、一緒に取り組むこともありました。	はい・・・11名、どちらともいえない・・・1名	お子さまには、本人が分かり易いツールを使い、伝達させていただいています。保護者様にも必要に応じて、分かり易い方法で伝えるように工夫していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のスケジュールは連絡帳に貼らせていただいておりますが、ホームページにもスケジュールを掲載させていただきます。園外活動行事に参加の場合はその都度、お便りをお配りしております。法人の広報誌を年2回、お配りしています。	はい・・・8名、どちらともいえない・・・3名、わからない・・・1名(活動予定や行事予定は前もって連絡帳につづりあり、会報やホームページが充実してくれば嬉しい。)	ホームページに毎月の予定を掲載しました。保護者からのご意見もあるように写真等の掲載は、個人情報もあるので、難しい所です。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	連携する際は、個別支援計画に連携先を記入し、職員には個人情報の誓約書を書いて、押印しています。又ホームページ掲載写真など事前に保護者様に画像の掲載の有無をお聞きしています。見学者がいる場合は、できる限り事前に保護者に連絡しています。	はい・・・11名、どちらともいえない・・・1名	個人情報関連は、鍵付きの書庫に保管しています。職員に守秘義務の誓約書に署名、捺印してもらっています。外部からの見学者が来所の際も、個人情報には配慮しています。
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応、感染症マニュアルはありますが、保護者様には周知徹底までは至っていません。オープンてくてくの際に提示していたのですが、今年度はコロナ感染予防対策の為開催しませんでした。	はい・・・11名、いいえ・・・1名、	緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル、利用者様が不明になった時のマニュアル、事故防止マニュアル等を施設で設置しています。保護者様との面談で説明していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	非常時の災害に備え毎月、防災訓練をしています。その内、年二回は消防に届出をし、水消火器を貸していただき行っています。防空頭巾をプレイルームに常備しています。こちらもコロナ対策の為、地域の方々との合同訓練は控えている状況ですが、職員間の訓練は今後とも行っていきます。		引き続き、非常時の災害に備え防災訓練を行います。今後は曜日を替えて、月1回実施していきます。(津波や、防犯の訓練も予定しています。)
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職員が外部研修に行った際に、虐待に対しての話を聞いています。内部研修も行っています。こちらもコロナ対策の為、外部研修は控えていますが、法人内研修は継続しています。		コロナ対策で外部研修は控えていますが、内部研修をはじめ、職員が個々のスキルアップにも努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
の 対 応	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束のマニュアルはありますが、組織的な決定までには、至っていません。個別支援計画の中に、活動への参加有無を保護者に確認するとともに、活動中の離席に関して、座るように声掛けすることも記入し、同意していただいています。		引き続き、本人が辛そうな、利用者様に対しては、保護者様と相談して、個別支援計画に記入させていただきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者様からの申し出で、お聞きしています。アセスメント時に、アレルギーの有無をお聞きしています。		引き続き保護者様の申し出で、お聞きします。医師からの結果報告がある場合は複写を保管させていただきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	児発管からの声掛けにより書いたり、職員自ら、気付いて書いています。その後職員全員で回覧し、他の職員も改善点等を付け加えて、検討しています。		ヒヤリハットが発生した場合は、報告書を書いてもらい、全職員で回覧し、共有するとともに、反省点、今後の改善等も話し合っていきます。